

施政方針

まずはじめに、本年4月が、市長、市議会議員の改選期であり、当初予算は、骨格予算として編成しており、選挙後の新たな施政方針を待つこととしておりましたので、今後の施政方針について述べさせていただきます。

既に骨格予算が議会でのご審議の上、執行されておりますが、本市の財政状況は非常に厳しいものとなっております、肉付けとして予定していた6月補正予算も大変厳しい状況となっております。しかしながら市民生活に支障を来すわけにはまいりません。更に、国や県、近隣市町村との連携の中で進めている事業については、事業の進捗を止めるわけにはいきません。このような状況の中で、ビジョンがはっきりしないもの、長期的なビジョンが定まらず、とりあえず行うとしている事業に関しては、補正予算での予算計上は行わず、来年度当初予算編成時までの課題とすることといたします。

また、これまで百条委員会などが開かれ、議会でも疑義が生じた案件が多数あったことを教訓に、公正公平な執行を行うため、裁量についての検証を行うとともに、執行にあたり利益誘導などが生じていないか、その可能性はないのか、しっかりと精査してまいります。そのため、今年度は、国の方針による予算措置の対応や災害時の対応などを除き、できる限り補正予算への計上は行わないことといたします。

所信表明において申し上げた内容をしっかりとした政策に落とし込み、事業のほか、機構改革についても、長期的なビジョンと期限を明確にし、実現に向けたロードマップを作成してまいります。そして、皆様にしっかりとお示しし、議論を尽くした上での予算編成を行ってまいります。

ハード事業につながるソフト面の課題として、市民病院と施設一体型小中一貫教育校の建設があります。市民病院の建設につきましては、政策の中にも入っておりますが、持続可能な運営を行うためにも、中身を今一度検討し直す必要があります。そのため、関係各位との協議に取り組んでまいります。施設一体型小中一貫教育校につきましては、

学校規模適正化，学校再編計画の見直しを教育部局に委ね，教育の中身についてしっかりと検討し，環境整備についての議論とすりあわせを行ってまいります。

財政上，大変厳しい状況にありますが，英知を結集し，一時的な解決策ではなく，持続可能な未来を見据えた計画的な取組を行うことで，笠岡市の輝かしい未来を，希望をもって切り拓いてまいります。市民の皆様と想いを一つにし，前に進んでまいりたいと思いますので，市民の皆様，議員の皆様の市政に対する一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上，今後の施政方針について述べさせていただきました。